

風景/悠々会・キアラの会 南北/南北社 現代人/墨田書房……
戦後文学の非営利的・実験的雑誌を集大成

文芸雑誌内容細目総覧

一戦後リトルマガジン篇

勝又 浩 監修 A5・810頁 定価(本体42,000円+税)
ISBN978-4-8169-2010-3 2006年11月刊行

■戦後創刊された119誌の内容目次を一覧

- ・日本の戦後文学の思潮をリードした文学的小雑誌—リトルマガジンと呼ばれる雑誌の内容目次集です。徹底した原本調査により、目次に載っていない作品等も記載。
- ・1945～1979年に創刊され、すでに終刊している119誌1,655冊の掲載作品、評論、対談、随筆など(のべ2万7千件)を収録。

■著名作家の小雑誌での活動状況もわかる

- ・「執筆者名索引」により、著名作家の同人誌執筆状況なども簡単に調べることができます。

■各雑誌の解題を記載

- ・各雑誌には、編者・出版者・雑誌の成り立ち・主要同人などがわかる解題が付いています。

好評既刊 文学界、群像、新潮などに掲載された小説・戯曲の総索引 勝又浩 監修

文芸雑誌小説初出総覧1945-1980 2005.7刊
B5・1,340頁 定価(本体47,000円+税) ISBN978-4-8169-1935-0

文芸雑誌小説初出総覧1981-2005 2006.7刊
B5・1,490頁 定価(本体47,000円+税) ISBN978-4-8169-1984-8


●収録誌例(刊行年月、発行所、著名な編集委員・作家)●

葦(1946.3～1946.12、七曜会、吉行淳之介)
勤労者文学(1948.3～1949.8、新日本文学会、徳永直)
玄想(1947.3～1949.4、養徳社)
現代批評(1958.12～1959.11、書肆ユリイカ、奥野健夫)
聲(1958.10～1961.1、丸善、大岡昇平・中村光夫)
個性(1948.1～1949.11、思索社)
使者(1979.5～1982.2、小学館、野間宏・井上光晴)
社会主義文学(1953.9～1959.11、社会主義文学クラブ)
序曲(1948.12、河出書房、植谷雄高・武田泰淳)
新文藝(1946.1～1946.6、虹書房、水上勉)
青年作家(1947.9～1948.1、小説新聞社)
総合文化(1947.7～1949.1、真善美社)
秩序(1952.1～1963.7、白林社→文学グループ秩序、篠田一士)
南北(1966.7～1969.7、南北社)
人間として(1970.3～1972.12、筑摩書房、小田実・開高健)
白夜評論(1962.6～1962.12、現代思潮社)
諷刺文学(1947.4～1948.2、イヴニング・スター社)
風景(1960.10～1976.4、悠々会、野口富士男・有馬頼義)
不死鳥(1949.1～1949.4、新月社、堀田善衛)
プロメテ(1946.11～1947.3、大地書房)
文学會議(1947.4～1950.7、大日本雄弁会講談社、石川達三)
文学51(1951.5～1951.9、日本社、鮎川信夫・堀田善衛)
文学サークル〔復刊〕(1950.11～1951.5、東京地方文学サークル協議会)
文学散歩(1961.1～1966.10、雪華社→文学散歩友の会事務局)
文学時標(1946.1～1946.12、文学時標社)
文藝往来(1949.1～1949.10、鎌倉文庫)
文芸新風(1951.2～1951.6、文芸新風社)
辺境〔第2次〕(1973.10～1976.5、辺境社、井上光晴)
無名鬼(1964.10～1974.12、無名鬼発行所、村上一郎・桶谷秀昭)
リアリズム(1958.10～1961.12、リアリズム研究会)
……など119誌1,655冊

2017.6

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	文芸雑誌内容細目総覧 一戦後リトルマガジン篇 定価(本体42,000円+税) ISBN978-4-8169-2010-3	冊
		 9784816920103	

01200 『ポリタイア』

【刊行期間・冊数】1968年1月～1974年3月（全20冊）

【刊行頻度】季刊

【判型】A 5

【ページ数】平均約122ページ

【定価】200円（1巻1号）→250円（1巻2号～1巻4号）→200円（2巻1号）→250円（2巻2号～4巻3号）→300円（5巻1号～5巻2号）→350円（5巻3号～6巻4号）→500円（7巻1号）

【発行所】近畿大学出版部（1巻1号～4巻3号）→近畿大学出版局（5巻1号～7巻1号）

【発売元】虎見書房（1巻1号～3巻2号）→皆美社（4巻1号～7巻1号）

【発行人】檀一雄

【編集人】檀一雄

【雑誌の系譜】

- ・佐藤春夫主宰の「春の日」に参加していた檀一雄が、当時の同人に呼び掛けて創刊した。
→ 000250『春の日』を見よ
- ・約一年半後に復刊した。→ 001350『ポリタイア〔復刊〕』を見よ

【概要】「ただ滑稽な演技者だけが登場する今日の、この危機の中に不動の精神的な本質を提示することを、魂の故郷を回癒し造形することを以て念願としたい」（創刊号「『ポリタイア』宣言」）という言葉に象徴されるように、日本浪漫派の流れを汲む雑誌。創刊時のメンバーは檀一雄、芳賀檀、林富士馬、真鍋呉夫、世耕政隆、麻生良方の6名。この6人を「世話人」とする他は、組織としての「同人」という形式をとらず、様々な作家が編集・執筆に参加したが、これは、『春の日』の精神を受け継いだものと思われる。編集後記に名前が見える人物としては、久保輝巳、沖山明德、古木春哉などがある。

第1巻第1号 第1号(創刊号)

1968年1月10日発行

時雨のころ……………保田與重郎	5
無用文章……………富士正晴	7
気力について……………浅野晃	9
前夜……………世耕政隆	10
ウィロビーの村……………山本稲夫	12
ポリタイア同人と私……………麻生良方	14
インドに八岐大蛇を訪ねる話……………柳井道弘	18
或る予言者の手記……………芳賀檀	21
凡兆……………林富士馬	56

僕の位置……………	38
盲と骨……………	40
森の奥……………	43
花……………	45
斜面……………	47
我が鎮魂歌(詩)……………檀一雄	50
ものうい獄舎……………	50
沈んだ魂……………	52
北上パンアメリカン・ハイウェイ(書簡)……………志邨孝夫	71
花の周辺……………世耕政隆	87
これを笑う(小説)……………駒田信二	93
グリボフ中尉(小説)……………富士本啓示	97
ソラキガエシ(小説)……………真鍋呉夫	116